

長野で第12回青年交流会

長野華僑総会 が全面的協力 多彩な企画で交流深める

「第十二回華僑華人青年交流会in長野大会」が全日本華僑華人聯合総会去る七月十八日から二十日までの三日間の日程で開催され、関東と関西合わせて総勢二十一人が参加された。

今大会の大きな特徴と

として、今年初頭より実行委員会が長野華僑総会にコンタクトをとり全面的な協力をえられ、講演では王昌勝会長、自身の経験をもとに国語に対する思いを語って頂いた。

初日、参加者たちはグループごとに東京・新宿と大阪を出発し、霧ヶ峰高原「ログコテージ霧ヶ峰」で合流した。関西グループが渋滞により到着が遅れたが、到着後は四

班に分かれ各班違った食材のカレーの準備を開始し、あまり料理をしない青年も班員と協力しながらカレー作りを楽しんだ。夕食後には実行委員の王遵輝君の司会で開会式が行われ、湯盛至第十二回大会実行委員長が

「青年交流会は様々な先輩僑胞の方々から協力を頂き開催しています。二泊三日感謝の気持ちを忘れず、そして交流を深められるよう楽しみましよう」と挨拶を行い、続いて陳学全副会長兼事務局

長が来賓挨拶を行った。その後オリエンテーション・花火を行い、青年たちは夜遅くまで交流を深めた。

二日目は、ログコテージを出発し、諏訪湖サイブスエリア・安曇野スイス村に立ち寄り、黒部ダムを訪れた。雨風が強い中にも関わらず青年たちは大自然・巨大ダムに圧倒され有意義な時間を過ごした。観光後は、宿泊

田屋」に向かい、夕食時には、班対抗中国語クイズが行われ大いに盛り上がった。夕食後は、温泉で寛いだり・談話室にて王昌勝会長を交え夜遅くまで歓談したりする青年たちの姿が見られた。

最終日には善光寺を参観訪問した後、JR長野駅前の「ホテルメトロポリタン」でさよなら宴会が行われた。初めに王昌勝会長ご自身の経験をもとにした講演が行われ、湯盛至実行委員長の挨拶、陳学全副会長兼事務局長の乾杯の発声が行われ歓談が始まった。食事中、二日間にわたり行われたカレー大会・中国語クイズの結果発表が行われた。午後二時頃、さよなら宴会が閉会し、たがいに連絡先の交換・再会を約束しあい、青年たちは関東・関西に分かれ、それぞれ帰路についた。



長野の善光寺に詣でた青年交流会の参加者たち